

秩父市女形県自然環境保全地域

1 指 定 理 由

本地域は、秩父盆地の西北部、吉田川支流の女形川沿いに位置した標高582メートルの急峻な岩石地である。標高的には温帯と暖帯にはさまれた中間温帯に位置し、中間温帯としての垂直分布植生（極相林としてのヒノキアセビ群落）が見られる。現在、中間温帯の極相林への遷移は、植物生態学上不明確であり学術的にも重要な地域である。

又、植物分布上極めて重要な種としてヒカゲツツジ、チチブドウダン、ホテイシダ、ベニサラサドウダン、マルミノヤマゴボウ、セッコウ、ウチョウラン、イワヒメワラビなどが、密度高く分布していることも大きな特徴である。

したがって、本地域は埼玉県自然環境保全条例第14条第1項第5号の「植物の自生地」に該当する。

2 保 全 区 域

イ 所 在 地 秩父市上吉田字向堂の一部

ハ 面 積 4.31 ヘクタール